

# 金署名活動

対しての取り組み状況を報告。さらに、高速道路各社による「当面の新たな料金割引に関する計画案」についてのパブリックコメントで、車両割引や契約割引の割引率のアップなどを求め、「大ト協と大貨協連で要望、陳情を行う」と説明した。

また、小野隆生専務理事から「交付金に係

務理事が、支部の再編について、「特別委員会の委員の再編も一部見直し再開して、支部のあり方、再編のあり方について議論していただく」と報告。また、現在の大ト協公用車を廃車すると述べた。

なお、常任理事会・理事会に先だって適正化事業実行運営委員会と信用保証実行運営委員会が開かれた。

(山田克明)

大きく上昇する。これは、会員・車両の絶対数が減少しているにもかかわらず、1社単位あるいは1台単位で納められる会費の単価が据え置かれ、結果的に会費収入の歩留まり率が高くなっていることが影響している。

また、「近代化基金」を用いた商工中金による融資の利用状況や、11年度の公募要綱も承認。10年度の利用件数は計100件、金額は12億9200万円、

53億円の融資枠からみた実行率は24・4%にとどまった。11年度の公募枠はさらに引き上げられ59億円となることも承認されたが、「商工中金以外の金融機関にも門戸を開かなければ融資のハードルが高い」（松原丈夫副会長）などの意見も出た。福永征秀会長は、「基準に基づいた融資。引き続き総務委員会と交付金委員会で対応を検討したい」と述べた。

(西口訓生)

## エコドラ研修会開く

環境再生  
保全機構 越野運送社長が講演

【兵庫】省燃費運動をテコに経営改善を図る「エコドライブ活動」に関する研修会が2月28日、トラック会館で開催された。今年

度のエコドライブコンテストに表彰された運送会社から報告がなされた。

環境再生保全機構が主催。社内体制として

### 講演する越野社長



優れた取り組みには環境大臣賞などが贈られる。今年度だけで1万2000あまりの事業所から約31万台がコンテストに参加した

取り組み報告では、優秀賞を受賞した「越野運送」（大阪市）の越野泰弘社長が「コスト削減から環境意識へ」と題して話した。

同氏は、コスト削減としての燃費向上に12年前から取り組み始め、これまで平均2割燃費を改善させたことから、4ト車を中心とした53台ある保有車両で年間1000万円以上の削減効果が出ていることを報告。そのう

えで、「報奨制度は目をこちらに向かせるためであり、賞金が目的となった時点で問題が持ち上がる」とし、「燃費向上が義務であることを認識させることが重要」と指摘した。

また、取り組みが10年以上継続しているコツが、改善提案や自己評価などを書き込む書類を従業員が作成し、同氏がコメントを書き込むことで「真剣勝負の対話をしたこと」にあるとし、コミュニケーションに気を配っていることを明かした。

(西口訓生)

### ◆商号変更◆

【大阪】エクシード・エクスプレス(松原市)Ⅱエクシードに商号変更。代表取締役役に米田啓氏が就任。

(レイアウト・中野秀一)

### 豊嶋弘氏 「偲ぶ会」

豊嶋運送

【兵庫】1月15日に死去した豊嶋運送(川西市)社長の豊嶋弘氏(78歳)を偲ぶ会が2月27日、伊丹市内のホテルで行われた。約500人が出席し、遺影に花を手向けた。

(西口訓生)

